

# 近代建築 を語る

## シンポジウム

- \* 庄原市七塚原記念館の保存について  
(旧農商務省七塚原種牛牧場本館 (1901年竣工))
- \* 岡山県技師 江川三郎八建築群について

シンポジスト・プレゼンター 「プロフィール裏面参照」

- 渡邊義孝 尾道市立大学非常勤講師
- 難波好幸 ● 江川三郎八研究会



七塚原記念館

旧総社警察署  
「江川式建築」

日時: 2018年 4月 14日 (土)

a:m 11:00~15:00

- ・第一部 11:00~11:50 / ヤマト工場見学会
- ・昼食 12:00~12:50
- ・第二部 13:00~15:00 / シンポジウム  
15:00~ / 旧自治寮見学等

場所: 「国登録有形文化財建物」  
ヤマトロックマシン旧自治寮  
管理棟2F 娯楽室  
: 庄原市東城町川西416-1 (東城ICより車2分)

参加費 / 1,500円

/ シンポジウム・資料代・昼食代  
工場建物見学会

参加費 / 1,000円

/ シンポジウム参加のみの方  
「資料代等」

参加申込 40名程度

締切 4/5

・お名前・人数・住所・携帯等  
連絡先を記載の上メール又は  
FAXでお願いします。(駐車場有)

Mail: yamamoto\_project\_14  
@yahoo.co.jp

FAX: 08477-2-4546

主催

・東新会・ヤマトプロジェクト  
☎ 08477-2-4544

協力

- ・広島県ヘリテージ協議会
- ・下町自治会
- ・ヤマトロックマシン(株)



# 【七塚原記念館の保存について】

## 「旧農商務省七塚原種牛牧場本館」

### ・渡邊義孝(わたなべよしただか)

1966年生まれ。一級建築士。  
尾道市立大学非常勤講師。  
風組・渡邊設計室代表。  
NPO尾道空き家再生プロジェクト外理事。  
尾道市史編纂委員。  
木更津市史編集委員。

住宅設計とともに歴史的建造物の調査に携わる。  
著書に『風をたべた日々』（日経BP社）、『セルフビルド～家をつくる自由』（旅行人）など。隔月刊誌『コンフォルト』に「実測野帳は語る」を連載中

百余年の風雪に耐えたその「貴婦人」は、かつての農商務省七塚原種牛牧場の本館として1901年（明治34年）に建てられ、わが国の畜産の近代化に大きな役割を果たした近代化遺産であるとともに、木造トラス架構と南京下見板、そして壮麗なポーチを備えた貴重な歴史的建造物でもあります。本館移転後も、記念館として酪農業の歴史を物語る展示施設として活用されていたものの、その後の老朽化で閉鎖されて今に至っていたのです。しかし上げ下げ窓も、階段の親柱も、当時のまま残されていました。

この建物をどうしたら残せるか。それは簡単ではないでしょう。しかし、まずはできることから始めたいと思います。それは、この建物の魅力と価値を、ひとりでも多くの人に知らせることです。地元の方々とともに保存と再生、活用の道を考える、そのメッセージを発信できたらと願っています。

# 【江川三郎八と江川式建築について】

一岡山県の近代洋風建築の世界ー ・パネル展 4月14日～15日

●江川三郎八研究会 / 難波好幸 一級建築士 / 岡山県ヘリテージマネージャー

明治後期から昭和初期にかけて、岡山県下で活躍した建築技師・江川三郎八（1860～1939）彼の手掛けた岡山県内の近代洋風建築群について、古写真や各種資料をご覧ください。



旧岡山県会議事堂

岡山県議会 監



旧遷喬尋常小学校校舎



旧吹屋小学校校舎



旧勝央町郷土美術館(旧勝田郡役所)